



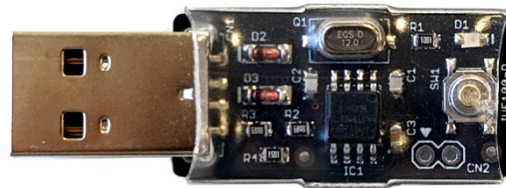
東京デバイスズ

# IWE100-D

自動キータイピング・モジュール Cobito Card

Rev. 1.4.1

IWE100-D「Cobito Card(こびとカード)」は、自動キータイピング機能を持った仮想的な USB キーボード・デバイスです。コンピュータの USB ポートに挿入すると最大 2048 ストロークまでのプログラムされたキーストロークを再現します。画面インタフェースを持たないシングルボードコンピュータへの作業マクロなど、様々な用途に応用できます。



## 1. IWE100-D Cobito Card 仕様

項目	値
電源電圧	5V ±10% USB バスパワーによる給電
消費電流	15mA avg.
通信規格	USB 1.1 HID キーボードプロファイル
データ容量	2048 ストローク
対応 OS	Windows 10 以降 .NET Framework 4.6.1 以降がインストールされている必要があります
対応キーボード	日本語 106 キーボード

## 2. 再生方法

Windows のメモ帳アプリなどを起動し、文章入力を受け付けられる状態にしてください。

USB ポートに CobitoCard を挿入してください。

出荷時に記録されているデモ用キーストロークが再生されます。

## 3. キーストロークの記録方法(Cobito Manager の使用方法)

はじめに、キーストロークをデバイスに書き込みするためのソフトウェア「Cobito Manager」をコンピュータにインストールします。東京デバイセスの Web サイト( <https://tokyodevices.com/> )を表示し、キーワード「Cobito Card」で製品を検索してください。Cobito Manager は製品ページよりダウンロードできます。ダウンロードした後、画面の指示に従いコンピュータにインストールしてください。



図 1 Cobito Manager 画面例

CobitoManager を起動したら、Cobito Card の 基板上のボタンを押しながら USB ポートに挿入します。ボタンを押さずに挿入すると自動キー入力動作しますのでご注意ください。1 台のコンピュータに 1 つだけ IWE100 を接続してください。複数台の Cobito Card は接続できません。

### 3.1. ストロークデータを作成する

キーstroークを記録するには、「ここへキー入力」と書かれたテキストボックスをクリックし、キーを入力します。画面右側のキーstroークデータ欄にキーstroークの情報が記録されます。この時点ではまだデバイスには書き込まれていません。

Alt キーや Windows キーを組み合わせたキーなどは入力するには「ここへキー入力」と書かれたテキストボックスの下側にあるボタンをマウスで ON/OFF してください。

stroークデータ欄の「Modifier」列には Shift キーなど、組み合わせにより使用されるキーが表示されます。「Key」列には入力したキーの名前が表示されます。「Data」列には参考情報としてデバイス書き込まれる数値データが表示されます。

#### 特殊stroークの追加

特殊stroークは、CobitoCard の動作を制御するための特殊なstroークデータです。実際にはキー入力はされません。1 つの特殊stroークは 1 stroークを消費します。

特殊stroーク名	説明
SHORT_WAIT	キー入力をせずに指定された時間待機します。時間は 100 ミリ秒単位で指定します。最大値は 100 (= 10,000 ミリ秒) です。
LONG_WAIT	キー入力をせずに指定された時間待機します。時間は 10 秒単位で指定します。最大値は 100 (= 1,000 秒) です。
REPEAT	REPEAT stroークが出現すると、stroークデータの最初のstroークに戻ります。REPEAT stroークより後のstroークデータは入力されません。

※LONG\_WAIT および REPEAT についてはファームウェア 1.2 以降のみで利用できます。入力しても動作しない場合には 1.2 以前のファームウェアですので利用できません。

#### stroークデータの削除

stroークデータから特定のstroークを削除する場合には、選択したいstroークの行をマウスで選択し、「選択削除」ボタンをクリックしてください。すべてのstroークデータを削除するには「全削除」ボタンをクリックします。

デバイスに記録されているstroークデータを削除するには、全削除した状態で書き込みを実行してください。

### 3.2. デバイスにstroークデータの書き込む

stroークデータが準備できたら「書き込み」ボタンをクリックします。書き込みは数秒以内に終了します。書き込みが終了しましたら Cobito Card を取り外してください。※Cobito Card が USB ポートに接続されていない場合には「Device is not found」のエラーが表示されます。

### 3.3. デバイスからストロークデータを読み込む

デバイスに記録されているキーストローク読み込むには、「読み込み」ボタンをクリックします。デバイスに記録されているストロークデータが読み込まれます。

### 3.4. ファイルにストロークデータを保存する

「ファイル」メニューから「ストロークデータを保存」をクリックしてください。現在画面で編集されているストロークデータをファイルに保存できます。

### 3.5. ファイルからストロークデータを読み込む

「ファイル」メニューから「ストロークデータを読み込み」をクリックしてください。ストロークデータをファイルから読み込みます。現在編集中のストロークデータは失われますのでご注意ください。

## 4. 製品カスタムサービス

東京デバイセズはお客様のニーズに応じて基板外形や機能・性能をカスタムいたします。詳しくは東京デバイセズ Web サイトの「製品カスタム」メニューからサービス内容をご確認ください。

2024-4-29 1.4.1 製品カスタムサービスについて追記しました。

2024-2-2 1.4 Cobito Manager 1.2.1 対応しました。

2022-1-4 1.3 デバイスリビジョン D 対応しました。

東京デバイセズ株式会社

Copyright © 2016–2024 Tokyo Devices, Inc. All rights reserved.

お問い合わせ先: <https://tokyodevices.com/contact/new>